

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【公表番号】特表2006-512020(P2006-512020A)

【公表日】平成18年4月6日(2006.4.6)

【年通号数】公開・登録公報2006-014

【出願番号】特願2004-565453(P2004-565453)

【国際特許分類】

H 03K 19/00 (2006.01)

H 03K 3/354 (2006.01)

【F I】

H 03K 19/00 A

H 03K 3/354 B

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月4日(2006.12.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

論理ゲートを形成するために配置された第1のトランジスタおよび第2のトランジスタと、

前記論理ゲートに交流電力波形を直接供給する交流電源と、を備える電子回路。

【請求項2】

前記論理ゲートが、インバータ、NORゲート、NANDゲートまたはアナログ増幅器を形成する、請求項1に記載の電子回路。

【請求項3】

前記電子回路が前記論理ゲートの出力に結合した負荷コンデンサをさらに備え、前記論理ゲートが第1の論理ゲートであり、

前記電子回路が第2の論理ゲートをさらに含み、前記第1の論理ゲートの出力が前記第2の論理ゲートの入力を駆動し、そして、前記負荷コンデンサが前記第2の論理ゲートの入力容量によって少なくとも部分的に形成される、請求項1に記載の電子回路。

【請求項4】

前記電子回路が、結合されてリング発振器の少なくとも一部を形成する一連のインバータ段と、

複数のデータラインと、

前記リング発振器によって発生したクロック信号に応答して、データを前記データラインから選択的に出力する複数の論理ゲートと、をさらに備え、

前記トランジスタが、前記論理ゲートの少なくとも一部を形成するために配置された複数の薄膜トランジスタを含む、請求項1に記載の電子回路。

【請求項5】

前記交流電力波形が前記論理ゲートの伝播遅延時間より短い期間を有する、請求項1に記載の電子回路。

【請求項6】

前記第1のトランジスタが負荷トランジスタであり、前記第2のトランジスタがドライブトランジスタであり、そして前記負荷トランジスタのゲート幅対ゲート長の比が、前記

ドライブトランジスタのゲート幅対ゲート長の比以上である、請求項 1 に記載の電子回路  
。

**【請求項 7】**

第 1 のトランジスタおよび第 2 のトランジスタによって形成された論理ゲートと、  
R F エネルギーを交流電力に変換し、前記論理ゲートに交流電力を直接供給する無線周  
波数変換器と、を備える無線周波数識別タグ。

**【手続補正 2】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**0 0 0 5

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

**【0 0 0 5】**

本発明の第 1 の形態によれば、論理ゲートを形成するために配置された第 1 のトランジ  
スタおよび第 2 のトランジスタと、前記論理ゲートに交流電力波形を直接供給する交流電  
源と、を備える電子回路が提供される。

本発明の第 2 の形態によれば、第 1 のトランジスタおよび第 2 のトランジスタによって  
形成された論理ゲートと、R F エネルギーを交流電力に変換し、前記論理ゲートに交流電  
力を直接供給する無線周波数変換器と、を備える無線周波数識別タグが提供される。

本発明は、広く交流 (A C) 電源で動作する論理回路に関する。本発明は、アモルファスまたは多結晶の有機半導体、無機半導体、或いは、両者の組み合わせを基材とする薄膜トランジスタを組み込んだ論理回路に適用される。